



北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY

カーボンニュートラル達成に貢献する  
大学等コアリション 全体シンポジウム(2022.3.11)

## ワーキンググループ活動紹介 (国際連携・協力WG)

幹事校

北海道大学、東京大学、長崎大学

発表 山内太郎 (北海道大学)

# 1. 国際連携・協力WG 概要と活動計画：2021～

## ミッション：WG全体のハブ

我が国のカーボンニュートラル達成とそのモデルの展開等を通じて世界規模のカーボンニュートラル達成に貢献するために

- 1) 日米連携を推進すると共に、国際情勢や大学等の貢献に係る世界の最新の知見など、コアリションの運営や他の4WGの活動に資する**情報を収集**する。
- 2) 途上国（アジア・アフリカ）との連携による国際協力の推進も含め、我が国の取組や研究成果等を**世界へ発信**する。

# 1. 国際連携・協力WG 概要と活動計画：2021～

**構成**：29機関

幹事：3 [北大、東大、長崎大]

運営委員：8 [幹事校 + 東日本国際大、中央大、北陸先端科技大、地球研、広島大]

**ミッション**：WG全体のハブ：1) 情報収集、2) 成果発信

**活動**：国際WG会合（年2回予定）

シンポジウム（他WGと協働）

参加機関の国際連携・協力について情報収集・分析  
（アジア・アフリカ、その他（先進国））

**国際連携・協働**：

米国（Second Nature/UC3）：第1回日米ジョイントワークショップ開催(2022年4月7日)

欧州、豪州（Asia-Pacific）、世界

アジア・アフリカ

# 1. 国際連携・協力WG 概要と活動計画：2021～

我が国のカーボンニュートラル達成とそのモデルの展開等を通じて世界規模のカーボンニュートラル達成に貢献するために1) 日米連携を推進すると共に、国際情勢や大学等の貢献に係る世界の最新の知見など、コアリションの運営や他の4WGの活動に資する情報を収集する。2) 途上国（アジア・アフリカ）との連携による国際協力の推進も含め、我が国の取組や研究成果等を世界へ発信する。



## 2021.10✓ 国際WGの中長期計画の策定

- ・参加機関の特徴を重視
  - ・他の4WGの国際連携を重視
- ] アンケート実施、情報収集・分析

### ✓ 日米ワークショップの企画・実施

- ・ゼロキャンパス、地域ゼロ、イノベーション、人材育成の各WGの取り組みを紹介
- ・国際WGが企画

### ✓ アジア・アフリカ連携の強化

- ・各メンバー大学が強い連携を有するアジア・アフリカの大学との連携を整理・マッピング
- ・次年度以降の活動の資料とする

## 2022.7 ✓ アジア・アフリカ連携に基づく対話

- ・海外大学とのパートナーシップを強めることによるシナジー効果を目的とし以下の活動を行う
- ・事例集作成
- ・教職員・学生の交換、ネットワーク強化

### ✓ 日米ワークショップ2022の企画・実施

- ・産学連携など技術提携・日米研究紹介
- ・国際WGが企画

## 2023.7 ✓ 欧米ネットワークとの連携／アジア・アフリカ連携との融合

- ・既存の欧米ネットワーク（米国UC3等）との恒常的な連携を行うと同時に日本の有するアジア・アフリカの学術ネットワークとの連携を目指す

## 2. 参加機関・大学の国際連携に関するアンケート調査の実施（1）

国際連携・協力WGでは、各参加機関・大学におきまして、海外の大学や研究機関との国際連携の状況を把握するために、アンケート調査を実施します。

### 設問1

貴大学・貴機関において、カーボンニュートラリティに関連する海外の大学や研究機関との共同研究や学術交流協定等の国際連携につきましてお尋ね致します。現在、それぞれ最も注力している国際連携や事業内容についてご回答下さい。

- 1) 欧米諸国との国際連携
- 2) アジア諸国との国際連携
- 3) 新興国（アフリカ等のグローバルサウス）との国際連携

### 設問2

貴大学・貴機関におきまして、今後どのようなカーボンニュートラリティに関する国際交流や国際連携を計画していますか。

### 設問3

本コアリションにおける国際連携や国際貢献におきまして、どのような活動を期待されますか。

## 2. 加盟機関大学の国際連携に関するアンケート中間報告（2）

（2022年3月19日現在、30大学研究機関より回収）

### 設問1 現在の連携（国名のみ記載）

#### 1) 欧米諸国との国際連携

ポーランド、フィンランド、オーストリア、オーストラリア、フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、オランダ、フィンランド、スペイン、スイス

#### 2) アジア諸国との国際連携

中国、韓国、インド、インドネシア、タイ、ベトナム、マレーシア、マニラ、フィリピン

#### 3) 新興国（アフリカ等のグローバルサウス）との国際連携

ザンビア、カメルーン、セネガル、タンザニア、ケニア

### 設問2. 今後の計画

- ・国際的人材育成（留学生交流）、社会実装、アクション・リサーチ
- ・欧米諸国：電力・エネルギー制御に関する研究
- ・EU：再生可能エネルギーに関する研究
- ・アジア地域：気候変動教育・研究と国際交流、省エネ・新エネルギー、水環境資源、環境保全に関する研究開発

## 2. 加盟機関大学の国際連携に関するアンケート中間報告（3）

（2022年3月19日現在、30大学研究機関より回収）

### 設問3. 今後の活動への期待

- ・各大学のカーボンニュートラルに関する、日本からの発信・提言
- ・各国との共同研究や連携のマッチング事業、他大学の取り組み事例の共有
- ・国際会議やワークショップの定期的開催
- ・コアリション参加校による国際連携や国際貢献にかかるシンポジウム・ワークショップ
- ・米国のみならず、欧州組織と協働し、アジア・アフリカとの共同研究・国際ワークショップ
- ・エネルギー・環境問題を地球規模の問題として対応できるグローバル人材育成
- ・SDGsやCNに関する国連や欧州議会の動きを注視し、国の重点政策が欧米に遅れることがないようにする活動
- ・外国人に向けた日本語教育のワークショップ、アジアで日本語教育に関わる人材育成拠点形成
- ・JICA等国際協力の実績を持つ機関との国際連携
- ・SATREPS（地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム）への拡大
- ・アジア地域での廃水処理技術の共同研究
- ・グリーンエネルギー開発に関する取り組み
- ・カーボンリサイクルの社会実装
- ・CC(U)Sや核融合など世界における最先端の取り組みに関する研究
- ・CO2やGHGの固定・吸収に関わる研究を紹介するワークショップ

## 3. 海外との連携（アメリカ）（1）

### 第1回 日米合同workshopの開催 (2022年4月7日開催)

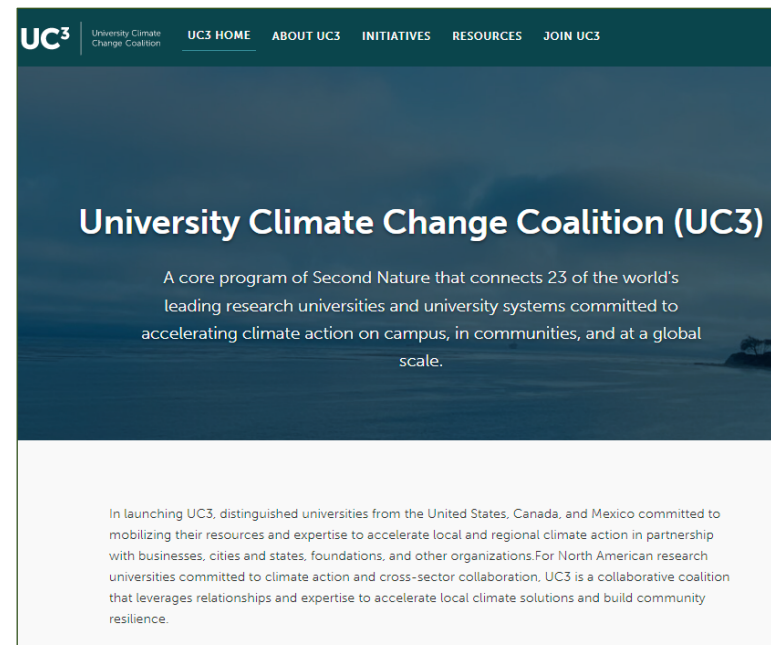
#### University Climate Change Coalition (UC3)

世界有数の23の研究型大学と大学システムを結び、キャンパス、コミュニティ、そして地球規模での気候変動対策を加速させることを目的とした組織。

UC3は、米国、カナダ、メキシコの著名な大学が、企業、都市、州、財団、その他の組織と連携して、地域の気候変動対策を加速し、コミュニティの回復力を構築するコアリション。

#### ■ 具体的活動

- ・ 排出量削減、気候適応、レジリエンスに関するベストプラクティスの知識共有
- ・ 野心的な気候変動対策活動を紹介し、同業他社の活動促進
- ・ 気候変動問題に対して協働し、革新的な解決策に取り組む

The screenshot shows the UC3 website homepage. The header includes the UC3 logo and navigation links: UC3 HOME, ABOUT UC3, INITIATIVES, RESOURCES, and JOIN UC3. The main heading is 'University Climate Change Coalition (UC3)'. Below it is a sub-heading: 'A core program of Second Nature that connects 23 of the world's leading research universities and university systems committed to accelerating climate action on campus, in communities, and at a global scale.' At the bottom, there is a paragraph of text: 'In launching UC3, distinguished universities from the United States, Canada, and Mexico committed to mobilizing their resources and expertise to accelerate local and regional climate action in partnership with businesses, cities and states, foundations, and other organizations. For North American research universities committed to climate action and cross-sector collaboration, UC3 is a collaborative coalition that leverages relationships and expertise to accelerate local climate solutions and build community resilience.'

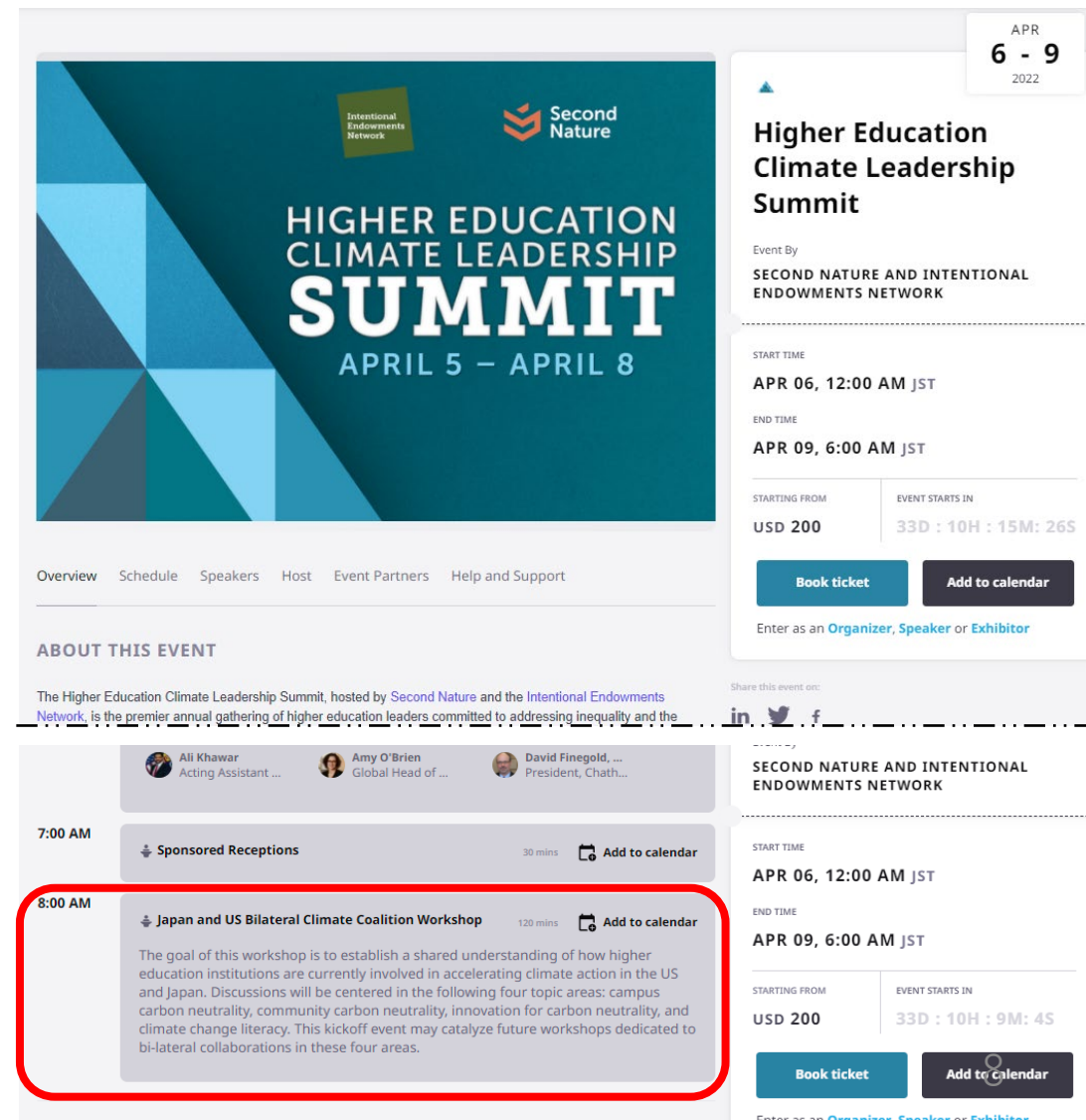


### 3. 海外との連携（アメリカ）（2）

#### 第1回 日米合同workshopの開催 （2022年4月7日開催）

**Higher Education Climate Leadership Summit**  
 のプログラムの一つとして開催  
 （日本時間 朝8:00-10:00）

The goal of this workshop is to establish a shared understanding of how higher education institutions are currently involved in accelerating climate action in the US and Japan. Discussions will be centered in the following four topic areas: ①**campus carbon neutrality**, ②**community carbon neutrality**, ③**innovation for carbon neutrality**, and ④**climate change literacy**. This kickoff event may catalyze future workshops dedicated to bi-lateral collaborations in these four areas.



APR 6 - 9 2022

## Higher Education Climate Leadership Summit

Event By  
 SECOND NATURE AND INTENTIONAL ENDOWMENTS NETWORK

START TIME  
 APR 06, 12:00 AM JST

END TIME  
 APR 09, 6:00 AM JST

STARTING FROM  
 USD 200

EVENT STARTS IN  
 33D : 10H : 15M : 26S

Book ticket Add to calendar

Enter as an [Organizer](#), [Speaker](#) or [Exhibitor](#)

Overview Schedule Speakers Host Event Partners Help and Support

#### ABOUT THIS EVENT

The Higher Education Climate Leadership Summit, hosted by [Second Nature](#) and the [Intentional Endowments Network](#), is the premier annual gathering of higher education leaders committed to addressing inequality and the

Share this event on: [in](#) [t](#) [f](#)

7:00 AM  
 Sponsored Receptions 30 mins Add to calendar

8:00 AM  
 Japan and US Bilateral Climate Coalition Workshop 120 mins Add to calendar

The goal of this workshop is to establish a shared understanding of how higher education institutions are currently involved in accelerating climate action in the US and Japan. Discussions will be centered in the following four topic areas: campus carbon neutrality, community carbon neutrality, innovation for carbon neutrality, and climate change literacy. This kickoff event may catalyze future workshops dedicated to bi-lateral collaborations in these four areas.

START TIME  
 APR 06, 12:00 AM JST

END TIME  
 APR 09, 6:00 AM JST

STARTING FROM  
 USD 200

EVENT STARTS IN  
 33D : 10H : 9M : 45S

Book ticket Add to calendar

Enter as an [Organizer](#), [Speaker](#) or [Exhibitor](#)

### 3. 海外との連携（アメリカ）（3）

## 第1回 日米合同workshopの開催（2022年4月7日開催）

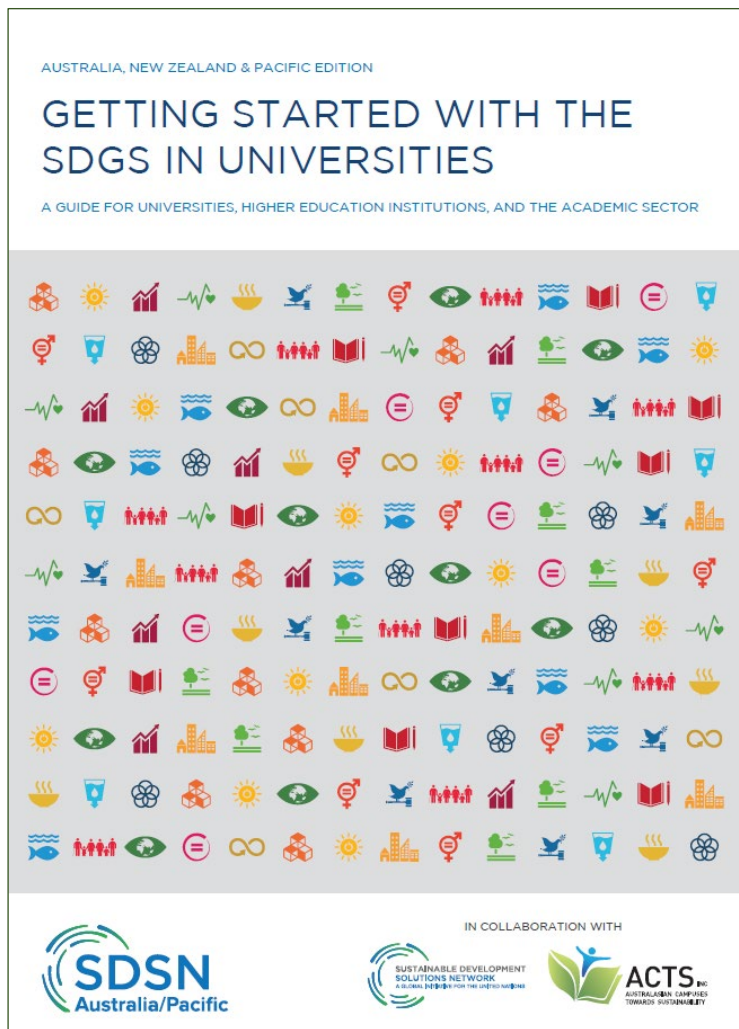
当日のプログラム(120 min)

- |  |                                   |
|--|-----------------------------------|
| 1) Introduction:                           | 5min                              |
| <b>2) Campus carbon neutrality</b>         | 5min; Japan, 5min; US, 15min; Q/A |
| <b>3) Community carbon neutrality</b>      | 5min; Japan, 5min; US, 15min; Q/A |
| <b>4) Innovation for carbon neutrality</b> | 5min; Japan, 5min; US, 15min; Q/A |
| <b>5) Climate change literally</b>         | 5min; Japan, 5min; US, 15min; Q/A |
| 6) Future collaboration:                   | 15min                             |

### 3. 海外との連携（オセアニア：Australia/Pacific）

SDSN(SUSTAINABLE DEVELOPMENT SOLUTION NETWORK)

SDSN Australia/Pacific | ACTS (AUSTRALIAN CAMPUSES TOWARDS SUSTAINABILITY) 高等教育セクター



日本語版：  
 翻訳：狩野光伸  
 監修：SDSN JAPAN/蟹江憲史

### 3. 海外との連携例（世界）

## International Universities Climate Alliance (IUCA)

#### 【設立経緯】

気候変動科学、気候変動の影響、気候変動への適応、気候変動の緩和に関して、研究に基づく事実を広く展開し、世界的に信頼のおける情報発信元となるべく、2020年4月に発足。



#### 【発起人】

ニューサウスウェールズ大学（オーストラリア）



INNOVATION



KNOWLEDGE



RESEARCH

#### 【目的】

- (1) 世界中で気候変動に対する行動・活動を加速させるため、気候変動に関する証拠、信頼できる意見、ソートリーダーシップ（革新的アイデアや思想を示し、先導者となること）を提供する。
- (2) 地球規模の炭素排出量削減のため、根拠に基づく方法により、アウトリーチ活動の支援、及び提供を行う。
- (3) 加盟大学の研究力、イノベーション、専門知識を広く外部へ紹介することにより、認知度を向上させる。
- (4) 教育研究の研修に関する知識とベストプラクティスを共有する。
- (5) 加盟大学間のネットワーク構築を支援する。
- (6) 加盟大学のカーボンフットプリント（CO2排出量）排出計画と削減実行を支援する。

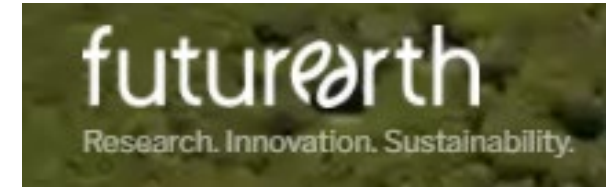
## 4. アウトリーチ

### ■人材育成、教材作成

人材育成WG、国連大SDG-UP、Future Earth等との連携

#### <参考> Future Earth

- ・ 2012年6月、リオ+20で、政策と科学の接点を強化するためのグローバルイニシアティブとして創設
- ・ 自然科学、社会科学、人文科学、そして国際政策、研究資金、ビジネスを代表する専門家によるトランジション・チームによって設計
- ・ 複雑系としての地球システムと人間のダイナミクスを分野横断的に深く理解し、気候、水、土地、海洋、都市、経済、エネルギー、健康、生物多様性、統治システム等の相互関連性を詳細に調べ、エビデンスベースの戦略を開発。
- ・ 国際科学会議、資金提供機関のベルモント・フォーラム、国連教育科学文化機関（UNESCO）、国連環境計画（UNEP）、国連大学（UNU）、世界気象機関（WMO）、社会における科学技術（STS）フォーラムによって運営。



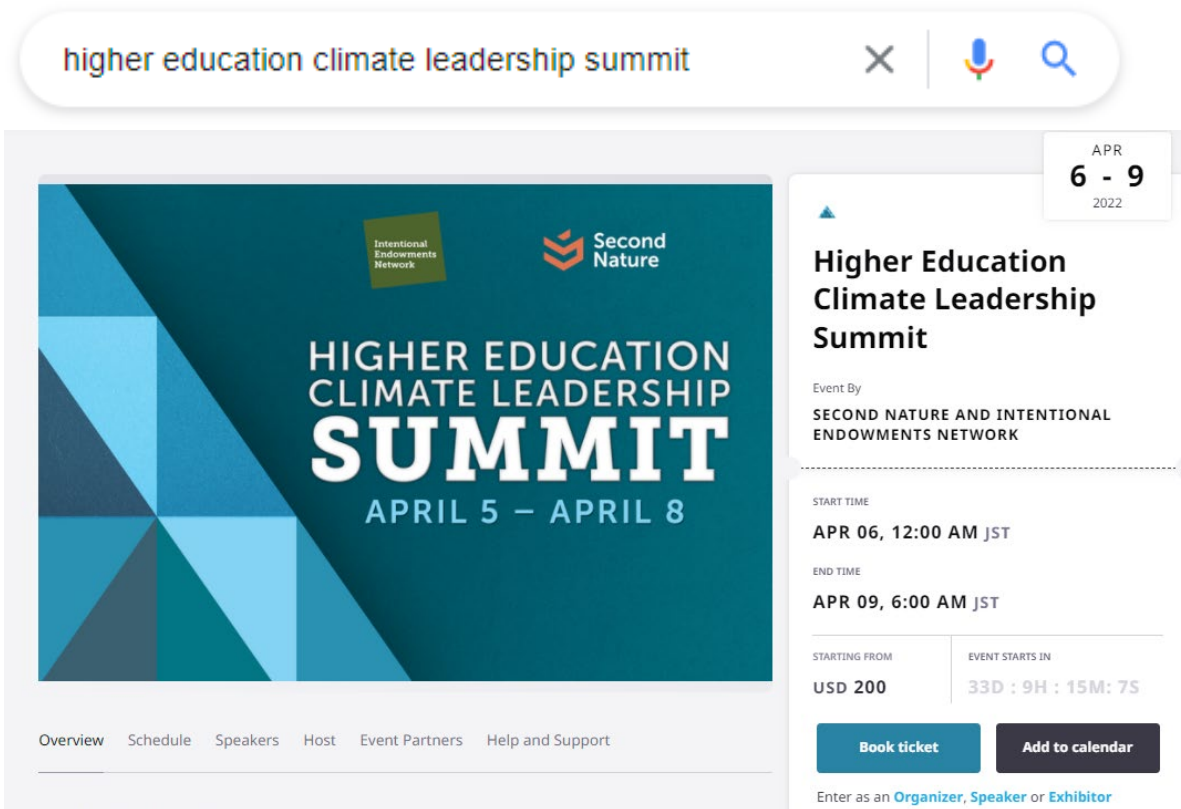
★ Japan Global Hub

★ FE日本委員会

ご清聴ありがとうございました。

ご案内：第1回 日米合同workshopの開催（2022年4月7日（木）A.M.8:00-10:00開催）

[https://www.intentionalendowments.org/2022\\_summit](https://www.intentionalendowments.org/2022_summit)



The screenshot shows the event page for the Higher Education Climate Leadership Summit. The main banner features the event title and dates (April 5-8) along with logos for Intentional Endowments Network and Second Nature. The event details on the right include the start and end times (April 6, 12:00 AM JST to April 9, 6:00 AM JST), a starting price of USD 200, and buttons for 'Book ticket' and 'Add to calendar'. Navigation links at the bottom include Overview, Schedule, Speakers, Host, Event Partners, and Help and Support.

「加盟機関大学の国際連携に関するアンケート」もよろしくお願ひします。（3月末締切）

大学等コアリション 加盟機関大学の国際連携に関するアンケート

大学等コアリション加盟機関・大学におかれましては、平素よりご尽力賜り感謝申し上げます。この度、国際連携・協力WGでは、各加盟機関・大学におきまして、海外の大学や研究機関との国際連携の状況を把握するために、アンケート調査をお願いしたいと存じます。ご多忙中、誠に恐縮ではございますが、ご協力賜りますと幸甚に存じます。

[Google にログイン](#)すると作業内容を保存できます。 [詳細](#)

**\*必須**

ご回答大学・機関名 \*

回答を入力

連絡先メールアドレス \*